

平成 17 年 2 月期 第 1 四半期業績の概況（連結）

平成 16 年 7 月 12 日

上 場 会 社 名 株式会社 ポスフル

（コード番号：7512 東証第一部・札証）

（URL <http://www.posful.co.jp>）

代 表 者 役職名 代表取締役社長 氏名 大川 祐一

問合せ先責任者 役職名 取締役管理部長 氏名 山本 宏之

T E L (011)865－9405

1. 四半期業績の概況の作成等に係る事項

売上高の会計処理の方法の最近連結会計年度における認識の方法との相違の有無 ： 無

2. 平成 17 年 2 月期第 1 四半期の概況（平成 16 年 3 月 1 日～平成 16 年 5 月 31 日）

（1）売上高

（百万円未満を切り捨て）

	売 上 高	
	百万円	%
17 年 2 月期第 1 四半期	29,859	91.6
16 年 2 月期第 1 四半期	32,590	—
（参考）16 年 2 月期	121,591	

（注）①売上高は、当該四半期までの累計値であります。

②平成 16 年 2 月第 1 四半期につきましては、四半期業績の概況の開示を行っておりませんが、参考として記載しております。

③売上高の数値に関しましては、監査法人による監査を受けておりません。

〔売上高に関する補足説明〕

当該四半期における商品別売上高は以下の通りであります。

	売上高（百万円）	構成比（%）
衣 料 品	11,183	37.5
住 生 活	4,699	15.7
食 料 品	13,050	43.7
そ の 他	926	3.1
合 計	29,859	100.0

当第 1 四半期（平成 16 年 3 月 1 日～平成 16 年 5 月 31 日）におけるわが国経済は、国内外の政治、経済の不透明感が払拭されない中で推移しました。経済指標では景気回復の兆しが言われておりますが地域的な格差があり、消費支出も旅行、デジタル家電など限定的な分野に集中している感があります。小売業界におきましては消費税の総額表示による消費行動に与える心理的影響、業種・業態を越えた競争は一段と激化するなど、厳しい環境の下で推移いたしました。

このような経済状況の下、当社グループはお客様の視点に立ち、「お客様第一主義」を基本とし、各店舗のエリアマーケットに基づいた「地域に密着した」売場作り・品揃え・販売に心がけ努力してまいりましたが、当第 1 四半期の連結売上高は 298 億 59 百万円（対前年同四半期比 91.6%）にとどまりました。商品別売上高は上記の表のとおりであります。全般的には衣料品が苦戦し、特に子供衣料、服飾関係が低迷したのに対し、ホビーカルチャー・携帯電話は引き続き好調に推移いたしました。

（2）当該四半期において企業集団の財政状態及び経営成績に重要な影響を与えた事象

該当事項はありません。

3. 17年2月期の連結業績予想（平成16年3月1日～平成17年2月28日）

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり予想 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	円 銭
中間期	57,000	60	10	0 41
通期	121,000	1,060	350	14 29

〔業績予想に関する定性的情報等〕

第1四半期の実績を踏まえ、平成16年4月8日の決算発表時に公表した中間期及び通期の業績予想を下記のとおり修正いたします。

平成16年4月からイオングループのPB（トップバリュ）を導入し、荒利益率の向上を図るとともに、各分野（商品・営業・物流・販促・開発）でのイオン株式会社との連携を強化し、再構築を図っておりますが、過渡期でもあるため、実質的な効果が現れるのは下期以降と考えられます。また、徹底した経費削減に努力を傾注してまいりますが、売上高については前回発表の中間期の予想数値から6.6%下回っており、この売上高の減少による荒利益高の減少を吸収できないと考え、今回の修正となりました。

(1) 連結（中間期）

（単位：百万円、%）

	売上高	経常利益	中間純利益
前回発表予想（A）	61.000	1.000	450
今回修正予想（B）	57.000	60	10
増減額（B－A）	△4.000	△940	△440
増減率	△6.6	△94.0	△97.8
（参考）前年同期実績	59.728	815	251

(2) 連結（通期）

（単位：百万円、%）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A）	125.000	2.000	800
今回修正予想（B）	121.000	1.060	350
増減額（B－A）	△4.000	△940	△450
増減率	△3.2	△47.0	△56.3
（参考）前年同期実績	121.591	1.549	△1.669

(3) 個別（中間期）

（単位：百万円、%）

	売上高	経常利益	中間純利益
前回発表予想（A）	61.000	1.000	450
今回修正予想（B）	57.000	60	10
増減額（B－A）	△4.000	△940	△440
増減率	△6.6	△94.0	△97.8
（参考）前年同期実績	59.728	815	251

(4) 個別（通期）

（単位：百万円、％）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A）	125,000	2,000	800
今回修正予想（B）	121,000	1,060	350
増減額（B－A）	△4,000	△940	△450
増減率	△3.2	△47.0	△56.3
（参考）前年同期実績	121,591	1,549	△1,669

なお、上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づいて作成したものであり、実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。